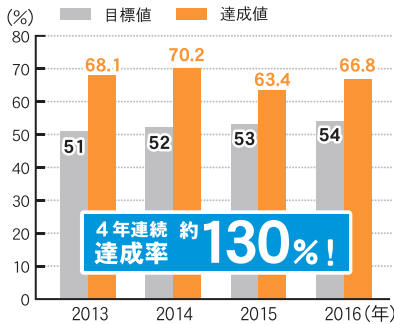




お話を聞きしたのは
株式会社 田中商会
取締役製鋼原料部長
たなか つよし
田中 剛 さん

部署ごとに担当者を決めて PDCAを確立、習慣化 ミーティングや社内報で コミュニケーションも活発に

▶ 中間処理再資源化率



現場の技術力は環境経営に影響するため、対話による情報共有を心がけています。

―エコアクション21に 取り組まれたきっかけは？

弊社が廃棄物の排出抑制や適切な処理を行っていることを取引先に明示するため、環境マネジメントシステムが必要になったことがきっかけです。エコアクション21(以下E A 21)は商工会議所から勧められ、取り組みやすさと費用対効果が望める点が決め手になりました。

―取り組みによる成果を 教えてください。

E A 21に取り組んで最も良かったことは、目標設定を行い、実施し、その結果を振り返るといった、E A 21の基本となるPDCAの仕組みが社内に浸透してきたことだと考えています。目標の設定の際には、積み込み作業中は車のエアコンを切る、機械の不稼働時の電源オフ、運転時間の短縮など、現場に即した小さな見直しを習慣付けしていくことを意識しています。最近では職員からの取り組みの提案もあり、この積み重ねが成果につながっていると考えています。

―取り組みで工夫されている 点を教えてください。

部署ごとに担当者を決め、月に一度各部門長が集まって情報・意見交換を実施し、成果を見える化し共有することで、個々の当事者意識を高めています。年4回発行の社内報でも取り組みや成果を取り上げ、自分中心として関わってもらえるよう工夫しています。業務面でも部署間の壁が取り払われ、コミュニケーションが活性化した実感があります。

最近ではプラスチックと金属など複数の素材を含む家電も多く、廃棄物は多様化しています。そのような中で中間処理再資源率を達成するためには、選別を行う従業員の力量の維持・向上が重要です。今後は従業員教育にもE A 21を活用できると考えています。

近年では中国が廃プラスチックの輸入を禁止するなど、リサイクルを巡る情勢はめまぐるしく変わっています。E A 21で作り上げた体制をもとに、時代の変化に対応していきます。

―今後E A 21に取り組む団体に メッセージを。

効果が得られる分、労力は必要ですが、プロセスの中で気付かされることも多いです。発見による業務改善やコミュニケーション活性化のツールとして活用してみたいかががでしょう。



社内報には社員紹介のコーナー等もあり、環境活動の当事者意識を高めます。

株式会社 田中商会

所在地 〒710-0803 倉敷市中島1395(本社工場)

従業員数 74名 | 認証・登録日 2010年10月6日

金属類・紙類の再資源化、金属の加工及び販売、廃棄物の収集運搬及び中間処理などを行っています。

エコアクション21

環境省が策定したガイドラインに基づいて環境経営のためのしくみを構築・運用している事業者を認証・登録する制度です。エコアクション21



エコアクション21 地域事務局岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾665-1 Tel 086-298-2122 Fax 086-298-2496
Mail ea21@kankyo.or.jp http://www.kankyo.or.jp